

2021彩の国トライアスロン in 加須大会スペシャライズドカップ
(埼玉県加須市)

報 告

日 時:2021年6月6日(日)

スタート:8時45分 (10人5秒刻みローリングスタート方式)

参加者数:500 人

距 離:ミドルディスタンス(89.25Km=S2.25km B72km R15km)

結 果:総合4位(年齢別 40 代 1 位) 総合タイム 3時間29分47秒

https://yokohamatriathlon.jp/wts/pdf/2021result_standard.pdf

スイム 2.25km 36分03秒(9)

バイク 72km 1時間53分 28 秒(8)

ラン 15km 1 時間00分16秒(6)

初出場の大会でミドルディスタンス (いつものスタンダードの約 2 倍の距離) のため、コース試走も踏まえ金曜日入り。群馬県、埼玉県、茨城県が融合する渡良瀬遊水地公園の自動車の規制がない広大な環境で開催された。ご存知の通りでコロナ禍での開催で、関係各位のご苦勞は相当なものであり、開催してもらったことは感謝しかない。我々の生き方の「カタチ」を作らせてもらう場であり、安全にかつ生き方を追求できた。

9 月にアメリカ合衆国で開催される世界選手権の出場権を得ているが、そのレースはこのミドルディスタンスでの戦いとなる。ある意味ではシュミレーション的なモチベーションで集中していた。

また、国内で同年代に負けていれば到底世界では通用しないだろう。しっかりとそれを意識して、心を強くして臨んだ。とはいえ、10 人ずつ 10 秒間隔で水の中へとスタートしていく「ローリングスタート方式」はやはり戦う相手が見えない戦いで私には難しさを感じる。極端に言えばずっと逃げ切る意識を持たなければならなく、気が付かないうちにペースが落ちることがある。それを立て直しながらレースを展開する。

ランに移った時に大体の順位が見えてくるが、あくまで暫定。雰囲気では 3 位入賞か！と順位をスパートをかけて暫定順位を確定しゴールしたが、最終リザルト (結果) は総合 4 位となっていた。

若い人たちと対等に張り合っているが、自分の中では課題を感じる。特にランニングにおいては走力が落ちていると感じている。この夏はその引き上げ対策を実行していきたいと決心する感じだ。本気になればなるほど弱さを感じ課題だらけと知る。人生と同じである。これでいいと思った瞬間に退化が始まる。アスリートとして、また人として進化成長は常に望んでいたと思う。現代用語でいえば心をアップデートし、体とスキルをバージョンアップしたいと感じている。

7 月予定のレースが 9 月後半へ延期になった。この機をじっくり悠々と心技体を貫いていきたいと思う。8 月最終日曜日に国内最大級の第 40 回記念大会の皆生トライアスロン(米子市開催)へエントリーしている。ロングディスタンスで真夏・・・大変な環境下のレースが想定されるが、世界へ挑戦する前の修行だと思っている。

「待ってる世界！」

プロマインド トライアスリート 福元テツロー



